



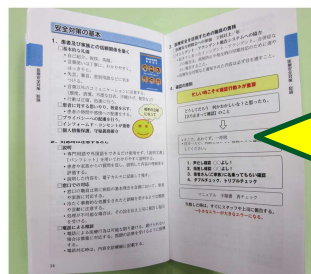
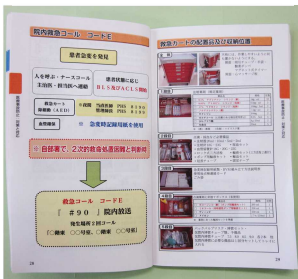
携帯用「医療安全ハンドブック」改訂版 全職員へ



平成26年5月 携帯用の医療安全ハンドブックが改定され、5月19日に全職員へ配布されました。

すべての職員が医療安全対策の基本として、必要な情報を共有し、それに基づくルールを順守するために、現場でいつでもすぐに確認できることを目的に作成されています。

急性期医療の現場では、医療の高度化に伴い複雑多岐に変化していることなどにより医療事故が起きやすい環境となってきました。このような状況下において医療安全を確保するためには、すべての職員が医療事故防止や感染防止に関する意識を高め、人間の特性である思い込みなどを排除し、確認を繰り返しながら行動する必要があります。



今回の改訂版は、見やすいようにカラー版で、イラストや写真などを活用したものに工夫されていますので、十分活用しましょう。

平成26年度新入職者医療安全研修会 & フォローUP研修会

医療安全の基礎知識と当院における医療安全管理体制を理解することを目的に、平成26年4月2日水曜日病院内6階多目的ホールにおいて、新入職者27名に対して『新入職者医療安全研修会』が開催されました。加納医療安全管理者による講義と演習を交えた内容で、研修終了後の理解度確認では、7つのカテゴリーの13項目のテストに対し正答率平均96%という結果でした。部署配属後は、現場教育推進されています。

また、業務にも慣れてエラーが発生しやすい3か月目、6月19日木曜日にフォローUP研修会も開催されました。今後も安全に対する意識向上や基本的行動がとれるよう継続した現場指導が継続されます。

医療安全通信は、各部署で回覧サインし、保管をお願いします。

写真KYT

危険を気づく感性を高めて安全な
入院環境を提供しましょう

下の写真の中のどこに危険が潜んでいるでしょう



👉 持続的に輸液投与（輸液ポンプ・シリンジポンプ）されている患者さんがポータブルトイレで排泄するときに、このような状況で良いでしょうか？



**輸液ポンプ・シリンジポンプの電源コードを
整理をすることで、足元の障害物がなくなりました。**

身近なちょっとしたところに危険は存在します。
また、ちょっとした対応で、危険を回避することも可能です。

**患者さんの安全が第一優先です。
おかしいなと思ったらお互いに確認しましょう！！**